

## 9/18 交通事故のない社会へ

阿蘇中央幼稚園の園児が千羽鶴を寄贈



開櫻乃介くん（中央）と山部絢音ちゃん（左）

阿蘇中央幼稚園（堀田周一園長）の園児が市役所を訪れ、市長に交通安全祈願の千羽鶴を手渡しました。

千羽鶴は秋の全国交通安全運動（9月21日～30日）に合わせて園児158人とその保護者らにより制作されました。園児を代表して開櫻乃介くん（永草）と山部絢音ちゃん（上役犬原）が市役所を訪問。「ぼくたちの安全を守ってくれる皆さんいつもありがとうございます。阿蘇に住む皆さんの安全を願って千羽鶴を折りました」と千羽鶴を市長に手渡しました。

## 9/15 ソフトクリーム九州2位

道の駅ひんやりスイーツ総選挙 2020



「阿部牧場のミルクソフトクリーム」と山本理事長（左）

道の駅ひんやりスイーツ総選挙2020で道の駅阿蘇の「阿部牧場のミルクソフトクリーム」が九州2位（熊本1位）に選ばれました。

氷やアイス、ソフトクリームなど九州内の道の駅の冷たいスイーツから投票でランキングを決めるもので、「阿部牧場のミルクソフトクリーム」は前年から大きく順位を上げました。

道の駅阿蘇の山本理事長は「皆さまのおかげ。他にもさまざまなおいしいものを販売しているのも多くの人に阿蘇に来てほしい」と話しました。

## 9/26 これからの活躍に期待

飛田愛斗さんが騎手免許試験に合格



騎手として活躍が期待される飛田さん（左）

9月の騎手免許試験に合格した飛田愛斗さん（一の宮中出身）が市長のもとを訪れ、合格を報告しました。

飛田さんは一の宮町坂梨出身。小学校ではテコンドー、中学校では野球をしていましたが、父と行った競馬場で騎手を目指すことを決意。難関を突破し、競馬学校に合格しました。2年間の訓練を経て、騎手免許試験に合格。飛田さんは「阿蘇の皆さんに恩返しをしたい。一戦一戦全力で頑張る」と抱負を語りました。10月3日には佐賀競馬場でデビューを果たしました。

## 9/25 おうち時間で新聞づくり

阿蘇市内の小中学校で新聞コンクール



小鷹ことのさん（左）と住夏綺さん（右）

市教育委員会主催による阿蘇市新聞コンクールが初めて開催されました。

新型コロナウイルス感染症による休校期間中に、新聞をつくる家庭での時間を充実したものにしようという企画されたもので、市内の小中学校から113件の応募がありました。

獣害から地域を守るハンターについてまとめた小鷹ことのさん（一の宮小3年）の「イノシシ新聞」と、亡くなった祖母への思いをつづった住夏綺さん（一の宮中1年）の「スミケ新聞」が最優秀賞を受賞しました。



## 10/9 きれいな芝でお出迎え

タカハマ緑幸がロボット芝刈機を寄贈



市長にロボット芝刈機を手渡す高濱社長（右）

大津町で造園業を営む有限会社タカハマ緑幸が市にロボット芝刈機を1台寄贈しました。

寄贈されたのはスウェーデン製で、搭載されたセンサーを用いて芝刈りから充電まで自動で行います。同社は販売したロボット芝刈機30台につき1台を公共性のある施設へ寄贈しており、芝刈機は阿蘇駅前の広場に設置されました。同社の高濱社長は「きれいな芝生で観光客を出迎えることができればうれしい」と話しました。今後は土日祝日を中心に運用される予定です。

## 9/8 奉告祭が行われる

献穀事業、献上米を神前にお供え



献上米を神前にお供えする佐藤市長

献上米を神前にお供えする奉告祭が阿蘇神社で行われました。献上米は、毎年11月23日に宮中行事として執り行われる新嘗祭にお供えされるものです。

神事には献穀者の大田黒元吉さん、祥子さん夫妻（山田）をはじめ、佐藤市長、原山阿蘇農業協同組合長らが参列。先月の抜穂祭で刈り取った献上米、粟を神前にお供えし、無事に収穫できたことを感謝しました。

大田黒さん夫妻は「全てが大変だった。安心すると同時に一抹の寂しさのようなものも感じている」と話しました。



## 10/21 英霊を偲び平和願う

阿蘇市戦没者追悼式



追悼の言葉を述べる山部会長

阿蘇市戦没者追悼式が阿蘇体育館で行われ、遺族や市民など約120人が参列、戦没者への哀悼の誠を捧げました。

式では、阿蘇市遺族会連合会の山部征三会長が遺族を代表して「戦没者の志を受け継ぎ、日本と世界の発展に力を注いでいく」と誓いをこめた追悼の言葉を述べました。式の最後には参列者が献花を行い、1162名の英霊に花を手向けました。

1945年の終戦から75年となる今年、不安定な国際情勢が続く中、参列者らは平和への誓いを新たにしました。

## 10/16 秋の風物詩

かぶと岩展望所隣にすすきの迷路



すすきの迷路とかぶと岩展望所

秋の風物詩となっているすすきの迷路が今年もかぶと岩展望所の隣に登場しました。

すすきの迷路は10年前に、西小園地区の住民の人々が、子どもたちに自然と触れ合ってもらおうと始められたものです。入場は無料で、1畝の草原に300メートルのコースと100メートルのコースがあります。今年は8月上旬に草を刈り、迷路が整備されました。11月いっぱい楽しめるとのこと、西小園区の小島良邦さんは「阿蘇にしかない植物もある。楽しんでほしい」と話しました。